

集落営農へ加工・業務用タマネギを導入検討するための指標

情報経営部 経営チーム TEL:022-383-8119

研究の目的

集落営農において、安定的な収入が見込める加工・業務用野菜（タマネギ）を導入する場合の検討資料とし、安定的な集落営農経営体の育成強化を図るため。

研究の成果

- 1 平成13年3月宮城県産業経済部発行の宮城県営農基本計画指標（第5版）に準じて「加工・業務用たまねぎ 技術体系と経営指標(モデル)」として、表計算ソフト（エクセル）を用いてファイルを作成しました（農園研のHPにて入手可能）。
- 2 ファイルは4つのシートからなり、各数値については実証試験や現地調査から得られたデータが入っていますが、自由に変更してより実情に合わせた試算を行うことができます。

総括・技術体系(シート1)

収支算定表(シート2)

注) 栽培技術については、集落営農に導入が有利な加工・業務用タマネギの機械化栽培体系（普及に移す技術第86号）に掲載されています。

普及等の見込

県下のタマネギ栽培導入を考えている集落営農組織等において活用が期待されます。



**宮城県
農業・園芸総合研究所**

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地
 TEL:022-383-8111(代表) FAX:022-383-9907(代表)
 ホームページ: http://www.pref.miyagi.jp/res_center/
 E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)